

2004年 7月13日

各 位

三井造船株式会社  
三井化学株式会社

## イラン IPC社向け高密度ポリエチレン製造プラントの建設受注・契約調印について

三井造船株式会社（以下、「三井造船」。社長：元山登雄）は、三井化学株式会社（以下、「三井化学」。社長：中西宏幸）と共同で、三井物産株式会社の協力を得て、イランの National Petrochemical Company（イラン国営石油化学公社、以下、「NPC」。総裁 Mr.M.R.Nematzadeh）の傘下である ILAM Petrochemical Company（以下、「IPC」。社長：Mr.D.F.Farahani）向け、高密度ポリエチレン製造プラントの建設を受注し、7月12日に契約を調印しました。

### < 契約の内容 >

1. 受注プラント 高密度ポリエチレン（\*）製造プラント 年産 30万トン  
\*：包装材料、パイプ及び日用雑貨等の素材として利用される樹脂
2. 建設地 イラン国 イーラム州 イーラム工業団地
3. プロセス 三井化学保有の高密度ポリエチレン製造技術
4. 受注総額 約 250億円
5. 契約締結日 2004年 7月12日
6. 着 工 2005年 4月（予定）
7. 完 工 2007年12月（予定）

本契約は、NPCグループにとって、初めてのフルターンキーベース（\*\*）の契約であり、欧州・韓国など海外の有力な競争先が商談に参加しましたが、高品質製品の製造に適し、世界各国に多くの技術供与実績を誇る三井化学の技術と、三井造船のポリオレフィンプラント建設に関わる数多くの実績や設計・調達・マネジメント能力が高く評価され、今回の受注に至りました。これにより、三井造船としての高密度ポリエチレン製造プラント建設の受注は、25件目となります。また、三井化学としての、当該技術供与は41系列目で、当該技術の世界合計生産能力は年産450万トン超となり、その存在感がさらに増すこととなります。

\*\*：製造プラントの設計、機材調達、建設、試運転まで全て行った後に引渡しを行う契約形態。

プロジェクト遂行にあたって、三井化学は技術を供与し、三井造船は製造プラントの基本設計、機材の調達及び製造プラントの建設指導を行います。なお、三井造船はイラン国内の大手設計会

社である Energy Industries Engineering & Design Co.(以下「EIED」。)とコンソーシアムを形成し、EIED 社に対し、イラン国内の機材調達及び製造プラント建設工事を担当させます。

なお、本プロジェクトには、国際協力銀行による輸出金融の適用と日本貿易保険の貿易保険の付保を予定しています。

現在、イランでは、高密度ポリエチレンをはじめとし、石油化学分野の製造プラント建設が多数計画されており、三井造船は今回の受注を契機に、今後とも同国での受注活動を積極的に展開してまいります。一方、三井化学が保有するポリエチレン、ポリプロピレン製造プロセス技術は、世界的にも極めて高い水準にあると評価されており、今後とも全世界をターゲットに三井化学はライセンス活動を展開してまいります。

以 上

本件に関するお問い合わせ先

|          |        |                  |
|----------|--------|------------------|
| 三井造船株式会社 | 広 報 室  | 03 - 3544 - 3147 |
| 三井化学株式会社 | IR・広報室 | 03 - 6253 - 2100 |